



「私たちは、キリストの死にあづかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、いのちにあって新しい歩みをするためです。」

(ローマ 6:4)

残暑、お見舞い申し上げます。昨日、真祈史(18)と一緒に、約6週間ぶりにロサンゼルスへ戻ってきました。今年の夏も、神様に、いろいろと教えていただいた、助けていたいと感謝しました。それぞれの出来事に、失敗や反省点があるものの、神様のあわれみと恵みで祝福され、感謝の中で、空港出迎えの和紀子たちと再会しました。家に帰って、和紀子いわく、「ジョセフ(2才)、張り切ってるなー」「(稲葉)今回は、人見知り、全然ないね。7月の時は、家に着いたら、台所のテーブルの下に隠れちゃったからね。ダディ、ダディってなるまで、3日ぐらい、かかったから」「(和紀子)良かったね」。エミリも饒舌で、一生懸命、友達のこととか話してくれました。



今年も祝福されたサマー・キャンプ!

お祈りいただきましたチア・キャンプも225名の参加者の皆さんと祝福された時を過ごしました。今回は、お伝えしたいことが目白押しです。白馬セミナーへの準備も進んでいます。相変わらず、未熟な自分の足りなさを思う日々ではありますが、皆さんへのますますの祝福を祈っています。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

きずなを強める親子旅のスメ — 続・2200キロ、2日半の旅

まずは、先月号に約束しました、2200キロを2日半、親子走破の証しの続編から書きますね。結論としては、家族の旅は、きずなを深めるので、ぜひ、積極的に機会を設け、実施されては!ということです。イエス様が弟子たちと、3年半、寝食共にされたことも、きずなを強める意味があったと思うし、忙しい時間をやりくりする価値ありと思いました。

(前号のあらすじ)

教会のユースキャンプに参加する予定だったエミリは、所属するオーケストラのコンサートとキャンプ出発日程が一日、重なりました。キャンプ地は、オレゴン州と、カリフォルニア州の境。往復2200キロ。私の仕事の関係で、2日半で終えなければならないスケジュール。私は、居眠り運転しがちなのに、時差ボケが残っていて、不安でした。迷いましたが、これもエミリと時間を過ごすいい機会、そして、免許を取って1年の真祈史に訓練と自信を与えるいい機会と考え、思いきって挑戦しました。

約15時間あまり、1000キロほど運転して、キャンプ地

に着いたときのエミリの喜びは、なんとも言えない様でした。「神様、ダディと真祈史が私をここまで連れてきてくれてありがとうございました。アーメン!」エミリは、写真を撮られるのを嫌がるのですが、「今日は、撮ってもいいよ。お礼だから」ということで、撮らせてくれました。感謝の笑顔が良かった!

そこから、2時間あまり運転して、途中、和紀子が電話予約してくれた宿へ。そこで真祈史との夕食も楽しかったです。翌朝、午前7時に出発。アメリカのフリーウェイですので、20トンを超える積載量の超大型トラックがたくさん走ります。その横を、運転歴1年の真祈史が高速で抜いていくので、なにか新鮮な風景で、うれしい驚きでした。1500キロを過ぎると、真祈史も少し余裕が出たようで、私も横で眠りました。2200キロ中、800キロは真祈史の運転で、少しほは自信になったと思います。道中、あれこれ話したりするのも、親子のきずな作りにとってもいいです。親子の長距離の旅、皆さんにも心からお薦めします。白馬とか、長旅ゆえに、ためらっている方がおられたら、ぜひ、どうぞ!

我が家にノミ、大量発生!



1000キロドライブで、キャンプ地に到着！ エミリと真祈史

猛暑の日本と違い、ロサンゼルスは、冷夏。めずらしく雨が多い夏でした。それで、我が家に大量発生したのがノミでした。我が家には、保健所経由で引き取られた犬のジェニー、ネコのクロとA.J.がいて、9年あまり、家と庭を自由に入り出しています。彼らは、普通、動物医からのノミよけの薬で大丈夫なのですが、今年は薬を上回る異常発生だったのか、彼らと共に、家のあちこちにノミも出入りするようになりました。

面白かったのは、ジョセフです。最近、絵を描くようになりました。紙に、テン、テン、テン、テンと書いていたと思ったら「フリー（のみ）！フリー（のみ）！」と言ってそのテンテンを指さし、和紀子がシーツで見つけたノミをつまむように、一生懸命、絵に描いたノミをつまむ真似をしていました。「親の説教」よりも、「親の実践・模範が大事」ということをよく言われますが、何でも真似するので、自分たちのあり方が、いかに大事かと改めて思いました。

サマーキャンプの恵み

7回目の今年も、神様の祝福の中で、とっても楽しく、有意義なキャンプを開催できました。神様と皆さんに心から感謝申し上げます。

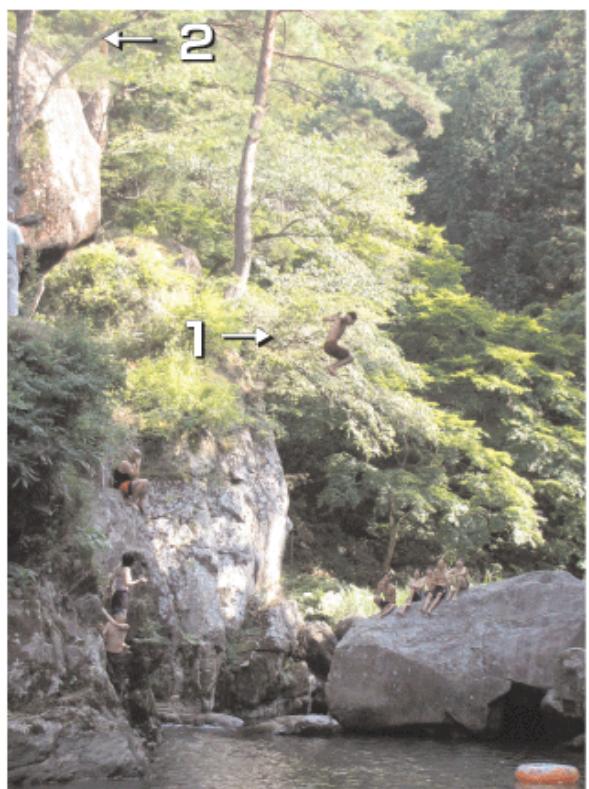
高さ、約5F建ての滝つぼジャンプ、 大人気＆大成功！でも、来年は原則中止かな…

開催に先立つ2日前、LIT（ティーンたちのキリストの弟子の心を育むチーム）のみんな26名が集まってくれました。渋谷からのバスも楽しかったです。丸森での昼食の後に滝つぼへ。この岩からのジャンプ、高さは5F建てのビルぐらいあり、すごく勇気が要ります。ちょうど、滝つぼもの水深も深く備えられ、その点は安全です。神様が備えてくれた日本でも稀有の場所という感じで、私の最も好きなアドベンチャースポットです。今年は、女子第1号を含む、これまで最大の8名あまりが続々、チャレンジし、成功しました。

でもこのジャンプ、けがのリスクもあります。私も、尾てい骨を打って、10日ぐらいは、椅子に座れなかったり、首が鞭打ちみたいになり、2週間は、スローモーション

ヨンで横になるという時もありました。和紀子から、「いい加減、やめたら」と言われました。それで、LITバスでは、「今年は僕は跳ばないけど」と宣言してましたが、現場に行くと、「一緒に跳んで、ためらっているLITのみんなを励まさなければ」と思い、2回、飛びました。その2回とも、あごをアップカットされたみたいになって、10日ほど、声が良く出なくなりました。さすがに考え始め、和紀子やほかのLITスタッフらのアドバイスも考慮して、来年からは、よほどの準備をしたメンバーを除き、取りやめにしようかとの考えにいたりました。神様が、大きなケガなく、これまで7年間、守ってくれたことを感謝します。

朗報ですが、最高峰はやめるとても、岩の中壁の3Fぐらいからのジャンプとなる場所は、リスクも少なく、そこはOKとすると、スタッフ反省会でも一致しました。LIT候補の皆さん、導かれる方は、来年は、そこを楽しみに、備えていてくださいね（中壁でも結構、勇気と準備は必要で、いいトライアルにはなります）。



日本で稀有の滝つぼですが、矢印2が最高峰の岩。
矢印1がジャンプ中のLITメンバー。

今年のLITは、引き締めモード ーでも、すごくほめられたよ！

夜はLIT参加の目的を、それぞれが発表。これまで、応募者をほぼ全員受け入れてきましたが、昨年は約50名と多くなり、今年は人数を限定し、一般参加にまわってもらった方々もいる旨を話しました。LITは、毎年すごく感動で、私自身とても励まされています。でも、その年、その年の反省点もあり、それらを話して、少し引き締めモードでスタートしました（去年、途中、怒られたメンバーたちが今年も連続参加し、とても素直にがんばってくれていることが、本当にうれしくもありました）。

初日の野宿は、猛暑の影響か、初めて、やぶ蚊の猛攻に会いました。女子チームはほとんど被害がなかったようです。でも男子は、全員、寝不足状態で、キャンプ準備に入りました。でも、みな一生懸命で、お世辞でほめたりはしない明泉学園のLITスタッフの皆さんから、とてもほめられ、励まされて準備が進みました。

森山ファミリーの証しからスタート

白血病と闘病してきた森山まのん（満音）君（6才）と御家族が、名古屋からそろって仙台までドライブ、キャンプにフル参加してくれました。数か月前は考えもできないことで、ハレルヤでした。まのん君が発病し、キャンプ参加を急速キャンセルされたのが1年前。その後、化学療法、そして生死の境を一進一退で過ごされ、ご夫妻からのメールを開ける時は、勇気がいる時が続きました。特に年末年始の体調の悪化とICUでの日々、2月にお見舞いさせていただいた時のこん睡状態を考えると、隣世の感で、とてもうれしかったです。

前に約束した「キャンプでキャッチボールをしよう！」というのを覚えていてくれて、グローブとか持ってきてくれ、キャンプ前のひと時、一緒にキャッチボールもできました。心から主を讃えました。森山さんご夫妻は、皆さんへのお祈り等への感謝、くれぐれもよろしくお伝えくださいとのことでした。引き続き、5年ぐらいはチェックされるとのことです。5年間、チェックが続くとのことです、まのん君の再発等のないよう、ご家族も心身共にいやされ、ますます主にあって活躍されるよう、続けてお祈りください。

「235名の自己紹介」&「サムエルさんのゲーム7連発」

今年は、台風の関係で、初めて「遊覧船」が欠航、「うさぎ平のリフト」も運行中止でした。でも、大切なポイ

満音君、キャンプに元気に参加！　いなちゃんとキャッチボールのマニフェスト実行！



→うれしい証し、
森山ファミリー



「やぶ蚊と対決」
スタート
野宿で



食事作り…
方はこれでいい
ライ返しが持つ
だけの？



洗濯ひも・張り切る・レーティ！

ントは、奇跡的な晴天で、ウォーターファイト、馬乗り、打ち上げ花火、海水浴、バーベキュー等は、すべて無事に実行することができました。遊覧船やリフトの代わりの「235名の自己紹介」、「サムエルさんのゲーム7連発」等も、大好評でした。以下、寄せられたコメントの一部です。

「今年は特にネットワークで、230名あまりが全員の自己紹介の時間が持たれてよかったです。それをきっかけに、多くの交わりの機会が与えられました。とても励されました！」、「ビリボさんのクラスは何度も聞いていますが、今回は、神様が特別なせまりをくださいました」「しつけのクラスで、心を入れ替えようと思い、帰りのバスで、さっそく実行させていただきました。子どもにも気持ちが届いたようで、素直になり、本当に良い効果があるんだねと皆で話しました」、「（台風後で今年は晴天と大きい浪に恵まれ、）海の波乗りが楽しかった！」、「ウォーターファイトや、馬乗りがすごい楽しい！」、「明泉の皆さんと交われ、ご両親から受け継いだ、信仰、伝道への思いが伝わってきました」...といった声をいただき、神様を讃えています。

LITのみんなも、とてもよかったです。上記のとおり、過去3年の反省点を教訓として話し、例年以上に、心研ぎ澄まして、全力で主を愛し、主と皆さんに謙遜に仕え



ていこうとのチャレンジモードで進みました。LITの26名は、純粋に心を開き、主の弟子になろうと、様々な奉仕活動に真剣に取り組んでくれ、参加者の皆さんに感動を与えてくれていました。

今年も、ノンクリスチャンの参加者でイエス様を信じて帰られる方も起こされました（よく知っている子どもさんたちが、ホームスクーリングを始めて、従順に成長していく姿の、その「変化」の大きさを見て関心を持たれ、去年に引き続いて、参加された方でした。ハレルヤ！）

私たちチアのサイドには、様々な至らない、不十分なところもあったと思います。でも、皆さん、忍耐もしてください、楽しく終えてくださいました。こうした励ましの場を、今年も体験させていただけた恵みを心から感謝し、皆さんに、感謝をもって報告させていただきます。お祈り、ご参加、また明泉学園の皆さん始め、多くの方々の様々なご協力に、心から感謝申し上げます。

スタッフ新体制へ

それぞれ8年、9年の勤務をがんばってくれていた、陽川夏枝さんと芳枝さんの二人が、8月20日をもって、チア・にっぽんスタッフを卒業ということになりました。

「神様の時が来たと思う」と、7月初旬に聞いた時、私はびっくりしました。もしかすると、この冬あたり、そんな節目となるかもという予感はありました。現実が思ったよりも早く訪れました。最初は、本当かな、、、と思いましたが、次第に、私も二人の想いに同意し、「主の時」であったと確信し、祝福と平安の中で、「卒業」を祝うこととなりました。

二人は、神様とチア、そして皆さんことを心から愛していました（もちろん、今も、そうだと思います）。実際、1年に360日ぐらいはチアのために働き、皆さんことを誇りに思って、少しでも助けになれればと情熱をもって働いてくれました。

この4年あまり、チアは、経済的な厳しい時代の中で、ダウンサイ징を進めるよう導かれました。期せずして、4~5年ぐらい前から、それまでのスタッフやパートスタッフの皆さんには、神様が、それぞれ新しい道を開いてください、送り出していたので、非情なリストラ等をする必要もなく、自然と導かれていきました。でも厳しい経済状況下、その後任を補充せずに、コスト削減をしていかざるを得ませんでした。

一方で、チャーチ&ホームスクーリング自体は、少しずつ着実な拡がりを見せ、チアのなすべきことも増え、仕事量は減ることはありませんでした。それで、一人一人のスタッフが多くの分野を兼務し、コスト削減を進めつつ、努力と工夫を重ねて働く、「収穫は多いが、働き手が少ない」、ハードな日々を歩んできたと思います。陽川さんたちは、こうした環境の変化の中で、新しい分野の仕事も次々と身につけ、一生懸命、体力、気力の限界まで働いてくれました。疲れきっていても、身を粉にして自己犠牲し、尽くしてくれていたことは多くの皆さんを感じてくださっていたと思います。

『神様から、『チアを卒業していいよ。よくやった。ス

タッフも若い世代が育ってきており、バトンタッチして大丈夫だよ』と導かれた気がする」との話を伺いました。私としては、せめて今年いっぱいくらい、お願いしたいと思いました。でも、「私たちも、これで引退ということではなくて、まだ、もうひと花咲かせるから、そのためには、年齢的にも今が神様の時であると思う。大変お世話になりました。すごいチアは楽しかったし、すごいやりがいあつたし、意義ある8年、9年でした」。確かに、今後の展開を考えると、今は、二人のための神様が準備してくれた旅立ちを祝う時なのかもと思い、その決断を受け入れることにしました。

陽川夏枝さん・芳枝さんは、我が家の真祈史やエミリを実のおいっ子、めいっ子のように可愛がってくれました。ある夏、真祈史が自信を失い、意氣消沈していましたがありました。「何で言われたか覚えてないけど、とても励ました。その後、すごい稻光があって、それと共に、とてもよく覚えている」と真祈史。景品のパソコンを、真祈史やエミリにあげるために、インターネットの長期契約をして、自分の苦手な英語使用にしておいたりと、枚挙に暇がありません。

芳枝さんが子どもの世話を苦手とは知らず、僕がセミナーしている日の一日、4才のエミリのベビーシッターを頼んだことがあります。すごく暑い日で、炎天下の中、駅からしばらく歩いていたエミリが泣きだして、どうしようもなくなってしまったそうです。夏枝さんいわく、「あの芳枝が、よく引き受けたと思った。生まれて初めての体験だったと思う」とのこと。でも、その後、二人をとても可愛がってくれ、励まし続けてくれました。

夏枝さんも芳枝さんも、和紀子と1度、日本で会ってますが、「真祈史やエミリが、今のように育っているのは和紀子さんのお陰だ。稲葉さんが育てたら、こうなってない」と、和紀子の応援を良く続けてくれました。この夏は、真祈史だけ来日（エミリは和紀子のジョセフの世話の手伝い）でしたので、アメリカに来た時には、我が家に寄るよう、招待させていただきました。

この後、二人は、少しブレークを取り、今後の展開のために心機一転、銳気を養って備える予定とのことです。夏枝さんは「介護をやってみようかな」、芳枝さんは「デザイ



陽川夏枝さん（中央）、芳枝さん（右）と
愛犬と真祈史

ンで」と前に語ってくれましたが、どう導かれるでしょうか。二人へのますますの祝福をどうぞお祈りください。

古川久美子さん、フルタイム・スタッフへ

新しいチアの布陣は、現在5年めの桑谷美穂スタッフと、2年ほどパートタイムで働いた経験のある古川久美子スタッフ、そしてHP等、担当してくださる堀井卓さんらチア・メンバーの方々、デザイン等をしてくれるアウトソーシングの方々です。

古川久美子スタッフは、5年前のサマーキャンプに参加、以後、LITのレギュラーとして各企画に参加してくれていました。もともと、中学までは不登校で、図書館やフリースクール等で過ごしました。でも、高校から保育士になりたいと目覚め、聖学院大学を卒業。さらに、ホームスクリーニングをやりたいとの志しから準備も兼ねて玉川大学で小学校の教員の資格も取っています。チアの事務をパートで手伝った後、教会のプレスクールと保育園でのパートタイマーとして働いていました。お父さんの裕久さんは、印刷会社を定年退職後、アガベ印刷を立ち上げ、「ファイアーストーム 決断する愛ー夫婦の危機を救う40日プラン」を印刷してくれました。ファイアーストームの全国展開の一翼を担ってくれたり、白馬やサマーキャンプで参加者の皆さんと深夜まで熱く話し合ってくださるエネルギーお父さんです。

そんなお父さんとの交わりもあり、本人もパート時代、真面目に、一生懸命働いてくれていたので、古川久美子さんに声をかけさせていただきました。「(お父さん)家族会議をしたいと言ってきた時には、もう心が定まっていました。本人が前から願っていたことだし...」「(久美子さん)家族がみんなで賛成してくれました。父も、チャンスだと励ましてくれました」とのこと、仕事を辞めてチアのスタッフを引き受けてくれました。

ご家族にあいさつに伺った時、お母さんのことばに驚かれました。「私、今、稻葉さんの顔を見て思い出しました。9年前、稻葉さんが教会にセミナーで来られ、当時、不登校だった久美子のことで相談させてもらい、とても励されました。『僕は、ハレルヤ、よく不登校したね』と言います。感受性に優れ、学校に違和感を感じ、家族に平安を感じているのだろうから。心配しないで、ホームスクリーニングと積極的にとらえて、神様を愛し、恐れ、従う道に堂々と進むよう、励まされては』と言ってもらい、すごく楽になりました...」とのことで、びっくりしました。セミナー後、そんな事があったなーと、かすかに思い出しました。それが久美子さんだとはまったく思わず、この数年間、労を共にしてきました。

チア事務局、東村山市久米川へ！

新体制に移行する中、フルタイムの二人にとって交通の便が良く、家賃がこれまでと同程度で、比較的安い、東村山市の久米川駅（西武新宿線）から1分に移ることになりました（それまでの与野本町の事務所は陽川さん宅から歩いて3分でした。現在のところは、古川スタッフ宅からは20分です。また南アルプス市でマガジン・ニュースレタ

ーの編集、デザイン、広告、試写会、会計、グリーム担当等をやり、週1日ぐらいのペースで事務局に来ていた桑谷スタッフにあっても、1時間ほど至近距離となります。また、ホームページ等を担当してくれることになりました堀井卓さんの家からも車で20分で、他にも近隣にチャーチ＆ホームスクーラーの皆さんが多い模様です。私が成田や東京駅から通うには若干、遠くなりますが、駅から1分なので交通は至便で、いろいろなミーティング等に出やすいです。久米川という町は、私自身、大学の5年生の時に住んだ、大好きな町です。引っ越しを手伝ってくださった皆さん、心から感謝します。ここから、新しいチアも再出発しますので、どうぞ、お祈りください。チアのオフィスをぜひ一度、お訪ねください。

チア・ジャーナル1 8月2日 グリーム英語キャンプを激励！

グリーム前校長のシェリルさんや、キム主任、ボランティアの北幸子さんらの来日に合わせて、良きミーティングを持ちました。これまでのチアからの参加メンバーへの手厚いフォローや熱心な教授に感謝を伝え、今後のプログラムの打ち合わせ等話し合いながら感謝の時を持ちました。また、英語キャンプに参加したチアの若者たち、北海道、鳥取、秋田、長野、東京といった全国各地からの約20名には、僕が大の苦手だった英語学習で教えられたことを分かち合いました。

「高校時代、僕は英語大の苦手だった。それで大学で英語サークルで勉強したり、そこでクリスチャンになって宣教師の皆さんとバイブルスタディしたりして、自信がついた。でも、TOEFLの成績はロサンゼルスの神学校が求めた点数550点に足りない498点だった。日本の先輩は、「大丈夫だよ」と言うから、アメリカに行ったら、大丈夫ではなくて、入学許可がおりなかった。幸い、LAでは週2回、TOEFLの試験が受けられて、3回受けて、ようやく仮入学できる点数525点を2点、上回った。入学式の前々日。それで合否会議に間に合って、仮入学。1年間以内に平均3.5以上（満点4.0）の成績を取ることと、TOEFL600点を取ることが条件で、それ以下は退学になる、そんな仮入学だった。入学して最初の夏、1コマ4時間のクラスに出て、家に帰ると、もうぐったりだった。授業中、ついていくのがやっと。黙っていると、ほとんど存在感もなく、『沈黙して、何を考えているか、よくわからない日本人』みたいな存在になっていく。これではよくないと思い、1クラスに必ず1回は手を挙げて、質問することを決意した。でも、なかなかチャンスも見つけられなかつたが、最後、教授がお祈りで、『自分たちはearthwormのような存在だけど、神様、愛し、用いてくれて感謝！』と祈った。勇気を出して手を挙げて、『質問あります。earthwormって何ですか？』と聞いたら、クラス中で爆笑になった。教授は、少しスマイルして『earthwormはね、小さな蛇のようだけど土の中にいて』と言って、黒板に図を書いてくれた。つまりミミズだった。大学院の神学のクラスで、『みみず』の単語の質問は、非常に低レベルで、みんなに笑われたけど、そこから教授や友人との交流が始まった。必ず、1クラスに1質問

と心に刻み、秋の別のクラスで、僕のK指導教授に、やはり勇気を出して質問した。K教授はにこにこ笑いながら「ヒロ、君の質問は、すごくいい質問だと思う。だけど、僕には君の英語がわからない。だから、質問の意味がまったくわからない」と言って、またクラス全員が爆笑だった。でも、そのK教授は、その後、僕の指導教授になってくれて、公私に渡ってお世話になった。そのようにたくさん恥や冷や汗をかいたんだけど、英語のみならず、コミュニケーションの秘訣を体験的に学び、力になっていったと思う。今もまだ力不足だけれどね。文法めちゃくちゃでいいし、変な質問でもいいから、授業中、勇気を出して手を挙げ、1回は質問してみて。格好悪くていいよ。恥をかけるだけ、かいた方がいいよ。そこから英語もコミュニケーションも上達するよ。神様に祈って、やってみて！」。

学習会には、少し障害を持ちながらグリームに参加したBさんとお母さんも参加しておられました。Bさんは、親元を離れたことがほとんどなく、グリームも1週間、持てばそれでもいいということで、参加されました。グリーム側も、Bさんのことをグリームの宝としてくれて、マンツーマンの体制を組んでくれました。お母さんいわく、「一緒にホームスティしてくれたホームスクーラーCさんも、娘の気持ちをわかって、近すぎず、離れすぎずで、初めてといつてもいい娘の友達となってくれたんです。それも良かった」とのこと。Bさんは、チアのスタッフたちのためにピアノを弾いてくれ、それもとても良かったです。

8月23日 ルボライターからの聞いた 「書く秘訣」

母校の弘前高校卒の著名人のインタビューを行いました。来年7月の同窓会でのレセプションの企画担当になったため。真祈史と口に伺ったのは、ルボライターの鎌田慧さん。「トヨタ絶望工場」を始め、130冊を超えるルボタージュを出版、NHK等のドキュメンタリー番組や教育番組「ようこそ、先輩！」などに度々、登場しています。父とも旧知で、「陸かつ南生誕150周年」で僕も一度だけ、お目にかかっていましたが、取材申請を快く引き受けってくれました。将来、神様の栄光を現す未来小説を書きたいという真祈史に対して、こんなアドバイスをしてくれました。「何を伝えたかったか。最初の目的を忘れないこと。書いているうちに忘れるから。それから、19世紀以降の名作と言われる世界文学を広く読むこと。真祈史くんはアメリカがマーケットだから、日本の本は読まなくていいよ。日本は世界で通用するというよりは、日本のマーケットで小さく完結してしまっているところがあるから。日本のことわざもわかつていて、世界に発信できる人は数少ないから武器だよ」とのこと。もちろん、聖書を読むことは大前提。「鎌田さんの二つのアドバイスは、とても心に残った。(通信制高校の)今期のレポートに役立てられる」と、真祈史は感謝していました。その後、弘前の実家でおじいちゃんにそのことを話すと、おじいちゃんは、朝日新聞社が出している文学を短くしたり、写真等で背景を書いている「世界の文学」シリーズ

をダンボール2箱を持ってきてくれました。真祈史は、「それ、ほしいけど」とおじいちゃんに言って、LAに持って帰ることになりました。「(稻葉)もちろん、映画と同じで、名作とされる作品の中にも、反聖書的な作品も含まれているだろうから…」「(真祈史)よく、わかる。吟味する必要はあるってことだね」。でも、評判の良いものに心を留めて、謙虚に学ぶことも大事なことかとも思います。「すべての真実なこと、すべての善れあること、すべての正しいこと、すべての清いこと、すべての愛すべきこと、すべての評判の良いこと、そのほか徳と言わされること、称賛に値することがあるならば、そのようなことに心を留めなさい」(ビリビ4:8)とある通りだと思います。鎌田さんはとてもいいアドバイスをしてくれました。「強い目的を持つ」というのも、チャーチ&ホームスクーリングにも当てはまることです。

なお、この同窓会企画、今月末29日は、冒険家(エベレスト、マッキンレーら世界7大陸最高峰でのスキー滑降、75歳でのエベレスト登頂記録) & プロスキーヤー(世界最高速171キロ滑降の記録保持者)の三浦雄一郎さんへの取材予定です。良き取材、そして、神様に祝福され、神様に用いられる企画となるように、お祈りください。

9月14日 対談「国会へ行こう！」 CGNTV版&チア・マガジン版スタート！

CGNTVからお話をいただき、国会議員らとの対談番組を持たせていただくことになりました(チア・マガジンでも平行して、掲載企画。番組は私のスケジュールが可能であれば、毎月1本程度)。これからチャーチ&ホームスクーリングや伝道展開において、国政とのきずなを強めておくのも大事だと思い、引き受けることにしました。第一回は、衆議院議員の柴橋正直議員(民主)。神様の導きを確信して、郵政選挙で注目された岐阜1区で、女性首相の声もかかっていた野田聖子議員と、当時、刺客としてメディアの脚光を浴びた佐藤ゆかり議員と対決し、大敗。その後、4年間の浪人生活を経て、昨年の政権交代選挙で当選します。6月7日にインタビューさせていただいて、10月の秋の新番組の改編に合わせて放送予定とのことです(現在、10月4日放送予定)。インター



「対談・国会へ行こう！」－柴橋正直衆議院議員と共に

ネットでも見れると思うので、確定次第、HP、来月のニュースレター等でお知らせします)。チア・マガジンでは、10月中旬にお届けする33号で特集予定で、原稿は9月14日に出来上りました。柴橋議員の神様の導きへの確信も励まされますが、背後にあるご両親の信仰教育にも、力の源泉、親のあり方の大切さを覚えます。車には大きな聖句を掲げて伝道、高校時代まで毎週暗誦聖句の日々、そして…。

TV&マガジン「国会へ行こう！」を通して、新たな角度からも、靈的なインパクトを与えていきますように、お祈りください。

新しい歩み—値打ちが無い人間でも…

今、チアの歩みも、私自身の歩みも、日々、悔い改めつつ、さらに主にある新しい歩みをすることを示されます。まだまだ修業中の自分の未熟さや甘さがよく示されます。

「時が満ち、神の国は近くなった。悔い改めて福音を信じなさい」(マルコ1：15)。イエス様が言われた「悔い改めよ」とのことばは、ノンクリスチヤンにだけでなく、私自身に語られている気がします。ある著名なクリスチヤンの方が、『ある失敗者の人生』という自伝を書かれましたが、それは自分に当たるなと思います。

8月末、弘前に戻ったときに、教会で以下のような礼拝メッセージをさせていただきました。

「…最近、50年あまり伝道を続けられている方に聞きました。『およそ50数年前、まだ15、6才の時、5人のチームで青森の下北半島で伝道しました。チームをリードしていた「大伝道者たち」、3人。ある人は、神輿をかついでいるグループと出会い、「真実の神様は、人間が造ったものの中にはいません」と言って福音を大声で語り始める、つわものでもありました。しかし、その後50数年経ってみると、そうした「大伝道者たち」3人は、それぞれ理由があったと思いますが、毎日伝道する生活を辞められました。残ったのは、その時チームの中で最も弱いと思われていた人、Aさん。Aさんは、いつも「私はダメ。そんなことできない。私にはできない」と縮こまっている人でした。そして、何も知らず、何もできなかつた15才の私も、ただ神様の恵みで、今まで福音を伝えることが許され、ただただ感謝しています。伝道は、人間の見る価値、能力や賢さによらないことを思います。小さな者、神様に頼る者を、神様はあわれんで用いられるということを教えられている気がします」とのことでした。心に残ったので、後でAさんに聞いてみました。Aさんは現在、80代後半、日本に来て57年。その間、一度もアメリカに帰国せず伝道に打ち込み、ご両親の召天の知らせも日本で聞きました。「私はいつも失敗ばかり。何もできない。こんなに大きな失敗をして、もう許されないという状況が何度もありました。ですから、私は今こうしてここにいる値打ちがない人間なのです。でも、神様のあわれみと赦しのお陰でここまで置いてもらいました。いつも、あーこれ無くしてしまった。神さま、どうしよう。こんなことしてしまった。どうしましょう。その連続。ただ、あわれみだと思う」とのことでした。

「値打ちが無い人間だ」ということばは、私の心に残りました。私自身も、そう思うからです。ヤコブが虫けらと呼ばれたように。同時に、示されることは、神様がその値打ちのない、虫けらのような者をも、あわれみ、赦し、正しい方向に歩んでいけるよう、助けようとされ、また、新しい歩みの中でご計画に用いようとされることです。キリストのあわれみゆえに、十字架で身代わりとなって流された血潮の代価のゆえに、このような者でも、神様の福音を伝え、そして、家族・教育を聖書に立ち返らせようと分かち合っていく特権を与えられているということを「信じる必要」を示されます。キリストのゆえに、上げられない顔を上げて、一步一步、正しい選択をしていくことを示されます。その資格も能力も値打ちもないのですが。実は、古き自分の身はもう死んで葬られていて、ただイエスのいのちにあって、新しい歩みに入っているために生かされていることを示されます。

「私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、いのちにあって新しい歩みをするためです」(ローマ6：4)

キリストのあわれみと代価によって、そうできることを祈り、信じようと思います。今できても、できていなくても、聖霊の力によって、新しい歩みができる事を信じて」。

礼拝後、友人のCさんが、今日の週報に掲載した話しひと重なってたよと教えてくれました。インド伝道の父、ウィリアム・ケリーのことばでした。

「病床のケリー博士に、自分の葬式のメッセージをどれにしたいか質問が出た。彼は『おお、私のような罪深い者は、話してもらう値打ちもありません。どうしても説教しなければならないなら、「神よ。あなたのいつくしみによって、私をあわれみ、あなたの豊かなあわれみによって、私のもろもろのとがをぬぐい去ってください」のところをお願いします』と答えた。そして、自分の墓石に次のように書くように遺言した。『みじめにして貧しく、力なき虫なるわれは、ながやさしき御手によりて眠る ウィリアム・ケリー 1761年8月18日生… 没』」

「今朝の話しひと重なるでしょ。デボーション誌は、ウィリアム・ケリーのことばを受けてこうまとめてたよ」とCさんは掲載されている週報を見せてくれました(C. H. スポルジョン『朝ごとに夕ごとに』)。

「…私たちの自らのよき働き、祈り、説教、施し、そして、最も神聖な物事の上にも主のあわれみを求めねばならぬ。血はイスラエル人の家の入口の柱だけではなく、聖所にも恵みの御座にも、祭壇にも注がれていた。なぜか。罪は私たちの最も神聖視するものの中にも侵入するゆえ、そこにも汚れをきよめるためのイエスの血潮を要するのである。…尽きぬあわれみが、私たちを祝福し、信仰の後退を回復させ、私たちの碎かれた骨を喜ばせんとして待機しているとはなんと快いことであろう。」

アーメンだと思いました。

皆さんの上に、ますますの祝福を祈ります。

チア・にっぽん 励ましとチャレンジセミナー2010 in 白馬

グリーンプラザホテル白馬(長野県)

- ◆どなたでも大歓迎！ 昨年参加525名
- ◆家族のきずなの回復。そして、教育の原点、聖書に立ちかえる体験
- ◆北欧調リゾートホテルで100種類のバイキング
- ◆11種の温泉
- ◆徹底学習（約50の基調講演・分科会）
- ◆家族・教育の目的、情報、励ましとチャレンジが与えられる！
- ◆家族・チャーチスクール・仲間との一生の思い出！

主講師

スコット弁護士&マーシャ・ソマーピル夫妻

スコット・ソマーピル弁護士とマーシャ夫人に、今回、6年ぶり、3度目の来日講演をお願いしました。(2004年のコンベンションと白馬セミナーに来日) 日本のこと、チアの皆さんのが大好きで、快諾してくれました。次女のチャリティさん(24)は、来春、日本で幼児教育を行いたいとの夢を持って準備中。6年前の来日は、ソマーピル家族の計画も大きく変わることにもなっています。



スコット氏



マーシャ夫人

ソマーピル夫妻の特徴は、温かく、理路整然&聖書に忠実な実践派のところでしょうか。クリアにチャーチ&ホームスクーリングの必要や核心、現実的な対処策を提示しつつ、聖書から靈的なポイントも押さえて実践し、励ましていく点など、スタッフや、参加者の皆さんと話しています。今、10年が過ぎたこのムーブメントの中で、もう一度、論理的にも、靈的にも実践的にも整え、靈的な武装と力を増し加えるタイミングとしてすごくいいのではと思いました。



チャリティさん

実際、温かいキャラクターで、アメリカで度々、チアや私のために時間を取ってくれ、英文メールのネイティブチェックもしてくれました。マーシャさんは、ホームスクーリングを始めて10年で、止めようと決断、そこから励まされ、立ちあがった方です。6年前、来日した時には、マーシャさんが生み出した学習カリキュラムが、地域で話題になり始め、完成をめざしているところだったと思います。その後、出版社を設立しました。スコット弁護士も、14年勤めたHSLDA(ホームスクーリング法律擁護協会)のフルタイムの弁護士を退職し、マーシャさんの会社のマネージメント役として就任しました。大きな信仰のステップだったと思います。神様は家族の起業を祝福され、マーシャさんやスコット弁護士が編み出した教材は全米でブレークし、今、スタッフ20名を抱える企業に成長しています。

3回目の今回、靈的な分野と実践的な分野の両面から話したいと、6つのセッションを準備中です(下記参照)。6人の子どもたちを育て上げているので、ティーンエージャーたちをどう育てていくか、そのポイントもそれぞれの視点から話してもらうことにしています。

この2週間、10月中旬発行予定のチア・マガジンのために、ソマーピルファミリーと頻繁に連絡取り合っています。スコット弁護士が「ホームスクーラーの就職戦線」に加筆してくれたり、マーシャさんが、ホームスクーリングを断念しようとした頃の原稿を新たに書き下ろしてくれたり、家族みんなで写真を準備してくれたり、一生懸命、やってくれています。同時に、日本への準備と祈りと期待を高めてくれています。ご家族を通して、今年、神様が特別になにか、語りかけてくれるのではと期待して祈っています。ぜひ皆さん、祈り、ご参加いただければ幸いです。

<スコット・ソマーピルさん>

■講演タイトル：「ホームスクーリング、30年の歴史を経て」「あなたの家の隠された宝2010」「ティーンを導く」「ホームスクーリングと法律」「神の知恵を得た子育て」「父の役割」

<マーシャ・ソマーピルさん>

■講演タイトル：「年齢別学習法(低年齢向け・ティ

ーン向け)」、「神の近さこそ私の良きもの」、「なぜ、ホームスクーリング?」、「ティーンを導く秘訣」、「切望と衝突—親子関係を強めるために」「十字架のしつけ」

<チャリティ・ソマーピルさん(24)>

■講演タイトル：「12年のホームスクーリングを終えて—何でもQ&A 強いところ、弱いところ、困難の克服法」

東京／大阪チャーターバス ※完全予約制

1人でも多くの方が参加できるよう、チアからのせいいっぱいの応援！ ※先着順

●東京往復

(大人/中高生¥6,500、小学生/幼児¥5,500)

11/18 東京：午前8時発 ホテル：午後2時着

11/20 ホテル：午後2時半発 東京：午後7時着

●大阪往復

(大人/中高生¥7,500、小学生/幼児¥6,500)

11/18 大阪：午前7時発 ホテル：午後2時着

11/20 ホテル：午後1時半発 大阪：午後7時半着

オプション企画（2日目午後）

(1)「そば打ち体験」

新そばの季節！ 自家栽培の小谷のそば粉を使って、おいしい手打ちそばを作ろう！ 1500円（先着30名）

(2)「とんぼ玉工芸」

カラフルなガラスを材料に、電気炉を使ってとんぼ玉を作ろう！ おみやげに。 1800円（先着20名）

(3)「手作りジャム」

りんご、ブルーベリーなど地元で採れた新鮮なフルーツを使って、おいしいジャムを！ 1500円～（先着30名）

(4)「美術館巡り」

・ラフォーレ美術館（シャガール作品）

・白馬三枝美術館（日本の画家百作品）

大人1000円、小・中600円、幼児無料

(5)「まくらファイト」ほかフリータイム

☆★早期申込み特典!!★☆ 「聖書に基づく教科書」等プレゼント

11月5日までの申込＆入金済みの大人の方に、聖書6・聖書10・聖書11（各2800円）、りか1（2310円）、DVD聖書（日本語字幕版）の中から、いずれかひとつ、もれなくプレゼント！ このチャンスをお見逃しなく！



♪ 参加者の皆さん全員へプレゼント♪ 「チア・マガジン」(1冊525円) 各3冊ずつ

参加者の皆さん全員にもれなく、チア・マガジンを3冊ずつ（お好きな号）プレゼントします！ お楽しみに！



チルドレンミニストリー大人気！

これまで参加したのべ4000人の子どもたちの圧倒的な支持！



LIT (リーダーズ・イン・トレーニング) 大好評！

キリストの弟子として子どもたちを助けていく訓練を受けます。（ティーンエイジャー対象）

**白馬セミナー 再来日記念リバイバル
(マガジン16号からの抜粋掲載)**

**「歴史の中のホームスクーリング
— テモテはホームスクールで育てられた —」
スコット・ソマービル**

伝統的な教育方法

日本では、ホームスクーリングという言葉は、比較的新しいものだと思います。アメリカ人は、新しいことが好きですが、日本人は、新しいことに対して慎重な態度を取ることが多いようです。それはホームスクーラーにとって、いい傾向です。ホームスクーリングは、新しい考え方であると同時に、とても古い教育方法だからです。

世界では、百数十年ほど前、現在の教育システムができる前は、両親が自分の子どもを教えたものでした。わずか一世紀の間に、私たちは、かつての教育方法がどれほど効果的であるかを忘れてしまっています。

農民たちは、農業の方法や、どのように収入を得るのか、それを親から子に伝授していました。子どもたちは両親を敬い、夫婦は愛し合い、子どもたちを育てる学んでいたのです。当時は、現在の私たちのように、宇宙については詳しく知らなかったでしょう。しかし、宇宙の中で自分たちがどのような立場にいるか、私たち以上に知っていたのです。現代に生きる私たちも、この教育方法の利点を学び、取り入れることができます。

私は、西洋の教育について学びました。日本の教育については、それほど詳しいわけではありません。しかし、日本の武道の教え方から、日本の伝統的な教育方法を学ぶことができます。アメリカでも、柔道や空手を教えていたりたちがいます。この人たちには、訓練やしつけを重要視しています。武道を教えるためには、ただ講義するだけではできません。教える人自身が、しっかりと武道をマスターしていかなければならないのです。それは、個人と個人の関係から生まれてくる、全人格的なものです。このような考え方は古いと考えられているかもしれません、これはホームスクーリングと多くの共通点があるのです。

テモテの信仰

テモテは、使徒パウロを助けた伝道者でした。第二テモテ1章5節「私はあなたの純粋な信仰を思い起こしています。そのような信仰は、最初あなたの祖母ロイスと、あなたの母ユニケのうちに宿ったものですが、それがあなたたちにも宿っていることを、私は確信しています」と書かれています。

使徒の働きを読むと、テモテの父はユダヤ人ではなく、ギリシャ人であったことがわかります。しかし、テモテが赤ちゃんのときから、彼の母と祖母は旧約聖書を教えていたのです。「私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、あなたの心に刻みなさい。これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを唱えなさい」



「白馬04」にて

テモテはルステラ、現在のトルコで生まれました。パウロが最初の伝道旅行のときに立ち寄った町です。そこで彼らは足の悪い人をいやしました。そのとき、町中の人たちが「彼らは神々だ」と言って、いけにえをささげようとしたことがあります。

パウロは、それをあわてて止めました。このとき、テモテが何歳だったのか、正確にはわかりませんが、十二、三歳ぐらいだったのではないかでしょうか。町の人たちが集まってパウロにいけにえをささげようとし、その数日後に、ユダヤ人たちがやってきて、同じ町の人たちの心をかき乱し、パウロに石を投げつけました。そしてパウロは、命からがらそこから逃れたのです。数年後、パウロはこの町にもどってきます。そのときの様子が、使徒の働きの16章に書かれています。ここで、テモテは初めて聖書に登場するわけです。

このとき、パウロはこの若者を自分たちの伝道旅行に連れて行こうと思いました。パウロは、テモテを励ましています。「年が若いからといって、だれにも軽く見られないようにしなさい。かえって、ことばにも、態度にも、愛にも、信仰にも、純潔にも信者の模範となりなさい」(第一テモテ4:12)

パウロは、テモテの中に多くの靈的な賜物を発見しました。そして、大きな責任を与えたのです。そして、彼は信頼でき、能力があり、真実の人であると考えたので

す。

パウロは、テモテの母と祖母が、忠実な信仰を持っていると賞賛しています。「あなたが幼いときから聖書に親しんできたことを知っている」とパウロは聖書の中で語っています。これこそ、クリスチャンが行うべきホームスクーリングです。神を愛し、みことばを愛するテモテを育てたこの二人の女性、ロイスとユニケは、テモテがみことばを身につけることができるよう努力したのです。

しばしば神さまが賞賛してくださる人を、世は賞賛しません。何千年もの間、女性は蔑視される傾向がありました。しかし、神さまは決して女性を蔑視したりしません。神さまのなさることは、この世がすることよりもはるかに素晴らしいものなのです。この世が蔑視する者を、神さまはご自分の栄光のために用いてくださるのです。

もし、この二千年間、クリスチャンの女性が、このロイスとユニケのように自分の子どもたちに熱心に聖書を教えていたら、世界はどうなっていたでしょう。もし、みなさんがロイスとユニケのよう行動していくなら、この日本はどうなっていくでしょうか。まさにテモテは、ホームスクーリングの素晴らしい例なのです。テモテは、一世紀の人です。そのテモテの時代から現代まで、歴史をさかのぼってみようと思います。

ルターの功績

1400年頃から1600年頃まで、聖書は読まれることなく、女性たちは蔑視され続けていました。しかし、ルターのおかげで女性たちの地位が回復したのです。ルターは、パウロが聖書で言っていることの真理を再び発見します。「愛のある夫は、妻のために自分の命を投げ出すべきだ。そのときに、教会が天の主をあがめるように、地上で妻は夫を愛し、敬うようになっていく」。このルターの宗教改革が、西洋における女性の地位を変えたのです。

第一ペテロ3章には、妻は命の恵みを共に受け継ぐ存在であると書かれています。クリスチャンの妻たちは、男性たちの所有物ではありません。このクリスチャン女性たちが、自分の子どもにみことばを教えることの重要性に、ルターは気づいたのです。その代表が、スザンナ・ウェスレーです。ジョン・ウェスレーと、チャールズ・ウェスレーの母です。この家族が欧米に大きな靈的覚醒を引き起こした、メソジスト教団も生まれました。スザンナは17人の子どもたち全員にみことばを教えたのです。そしてキリストのために世界をひっくり返すような子どもたちに育てました。

1985年に、私はホームスクーリングを始めました。グレッグ・ハリスという人が紹介してくれたのです。彼は、自分の妻と、当時2人だった子どもについて語ってくれました。当時12歳だった上の息子のジョシュアは現在36歳で、3000人が集う私の教会の主任牧師になっています。彼の著書『聖書が教える恋愛講座』『聖書が教える結婚講座』は、日本ほか10数カ国で読まれています。

彼の母親のソノ・ハリスさんは日本人です。彼女はホ

ームスクーリングを行ったクリスチャンであり、その息子が今、世界をひっくり返すような働きに参加しています。日本人の女性が、子どもに聖書を教えるときに、このようなことが起こるのです。

夫と妻が力を合わせて

人類の歴史を見たとき、男性は、女性を横に置いておき、まるで自分の持ち物のように、教育すらしなかった時代がありました。しかし、それは神さまの計画ではありませんでした。

神さまはアダムに、「世界を治め、支配せよ」と命じられました。全身全霊を使ってそれをするように願っておられました。そしてエバは、その助け手として与えられたのです。それは、アダムの力だけではなく、エバの持つすべての力も必要であることを示しています。

これこそ、ホームスクーリングの秘訣です。夫と妻が、力を合わせて働くことが必要なのです。夫に与えられた賜物と、妻に与えられた賜物は異なります。これを合わせてホームスクーリングを行っていくのです。このように、クリスチャン・ホームスクーラーたちは様々な賜物を合わせて用いていくべきです。これは、主の弟子を作り出す上で非常に効果的なことです。

家族全員が神さまを知り、神さまを愛するようになると、驚くようなことが起こります。コロサイ3章16節にこう書いてあります。「キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住まわせ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と靈の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい」。

キリストが私たちの中に住まわれる、そのことが私たちの家庭の中に起こるのです。

母親が神さまを愛し、そのみことばを愛するようになると、それは始まります。そのような妻を、夫はとても大切に思うようになります。そして、妻がホームスクーリングを一生懸命行うことの大変さを知り、彼女を支えていくのです。そうすると、家庭が賛美にあふれた場所になっていきます。心には喜びがあふれます。それこそ、クリスチャンホームのあるべき姿ではないでしょうか。

ホームスクーリングをやっていて、「もうやってられない」と思ってしまったとき、聖書を開いてテモテについて読んでみてください。ロイスとユニケについて思い出してください。この忠実な女性たちを思い出してください。彼女らには、ひとりの男の子しかいませんでした。でも、神さまはテモテを用いて、ご自分の教会を建て上げられたのです。このような人たちを用いて、神さまはヨーロッパを変えました。今、日本を変える女性を神さまは求めておられるのです。

[全文はこちら>>](#)

**チア・
にっぽん 関東ミニ学習会 親子工作スペシャル (9/25)**

聖句工作&聖句レーシングカーの2コース！！

月1回程度の学びや、体育、交わりの機会が持てたらとの声に応えて始まった関東ミニ学習会。2度の国会見学も大好評でした。9月は土曜開催です！ふるってご参加ください！！

日時：9月25日（土）開場：午前10：00 スタート：午前10：30 終了予定時刻：午後3：00

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京・代々木）センター棟310号室 集合

スケジュール：

《午前》：「親子工作」&「交わり」（近況報告タイム）。お父さん&お母さん親子スペシャルとして2コースの親子工作を予定しました。若干、実費がかかります（150～500円）。そのほか近況報告タイムも。

(1) 聖句工作：厚さ1センチぐらいの板でオリジナルの聖句板を作る予定です。彫刻刀を持参し削ってもいいし、絵の具等で描いてもいいし、厚紙で立体的な聖句の文字を造り、板に貼りつけて…等、板だけは同じものを用い、後は創意工夫、まったく自由という企画です。板は1枚150円で、学習会当日に渡します。

(2) 聖句レーシングカー：昨年の白馬等でも大好評でしたが、レースカーを製作するコースです。こちらのキットはアメリカ直輸入になり、実費で1台500円。今回はレースカーに聖句を書き込もうという企画になりました。レースは、白馬と1月の合同学習会で開催予定（参加資格は、今年度制作のレースカーです）。

以上、2種類の工作デーになります。2種類とも参加してもOKです。レリーフ希望の方、おられましたらお知らせください。のこぎりや彫刻刀、紙やすり、ポンド、絵の具、マジック、新聞紙などをお持ちの方は持参ください。

《午後》：「体育」&「セミナー」（バレー、バスケットほか。親御さんも一緒にどうぞ！）

「年齢別・運動神経を発達させるための運動プログラムミニセミナーPart 8（約20分）」

特別講師は、藤井一朗さん（九重部屋公認トレーナー、米国公認スポーツトレーナー）。今回も、家庭で実践できる新しい運動を紹介予定です。

その他の講師：稻葉寛夫

参加対象：どなたでも大歓迎です。積極的にご参加ください！

持ち物：（持っている方：彫刻刀、のこぎり、紙やすり、ポンド、ポスターカラー【絵の具でもOK】、マジック）、新聞紙、体育館シーツ、運動できる服装。親御さんも一緒にどうぞ！

参加費：大人（中学生以上） 700円+590円（食費実費）、150円（聖句工作）or 500円（レースカー）

小学生以下 500円+540円（4歳以上は食費実費）、150円（聖句工作）or 500円（レースカー）

※郵便振替、あるいは銀行振込にてお支払いください。

■郵便振替 00190-3-35461 チア・にっぽん事務局

■銀行振込 三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店（普）1746716 ホームスクーリング・ビジョン（株）

9月25日（土）第11回 関東ミニ学習会

参加申込書 ⇒ FAX 03-6862-8648 メール：office@cheajapan.com

ふりがな 代表者ご氏名	(携帯) お電話
----------------	--------------

ご住所 (〒)

参加費 大人（中学生以上） 1290円 × () 人 子ども（4歳以上） 1040円 × () 人 子ども（3歳以下） 500円 × () 人	■レースカーキット希望個数 500円×() 個 (郵送も受付中です。送料400円)
--	---

■聖句工作用 板 希望枚数 150円×() 枚

合計 () 円

参加者ご氏名&性別&年令			
--------------	--	--	--

ふりがな	男・女	歳	男・女	歳	男・女	歳
------	-----	---	-----	---	-----	---

ふりがな	男・女	歳	男・女	歳	男・女	歳
------	-----	---	-----	---	-----	---

第3回／第4回 「グランプリ！大会」開催決定！

11月19日（金）白馬セミナー
2011年1月31日（月）東京・オリンピックセンター

◆◆ 今年は「スピード部門」と「美術部門」の2部門 ◆◆

9月25日の親子工作デーには、アメリカのアワナクラブ（聖書をベースに、聖句暗記したり、遊んだりするクラブ）で、大ヒットしているグランプリ！用の木製のレースカーキットをアメリカから、調達してきますね。誰でも簡単に作成できるキットで、親子で制作するの楽しいですよ。

初の土曜開催となった昨年9月29日の第7回関東ミニ学習会でも、親子でレースカー作りに挑戦しました。まずは、どんな形にするかを各自で設計し、その後、レースカー作りに親子でトライ！自前のナイフや、やすりを持参し、器用な手さばきで見事な車を作り上げたお父さん、使い慣れないノコギリに奮闘しつつ、子どものために一生懸命作り上げたお母さん。約1時間をかけ形を整えた後は、思い思いにペイントし、それぞれ個性あふれるレースカーが完成しました。

そのレースカーで競い合うグランプリ大会を、今年の白馬セミナー＆来年の関東ミニ学習会で開催します！白馬でも、レースカーキットを実費販売しますので、2日目の夜までに完成させての参加もOKです（500円。大人も子どももエントリー自由！）。参加資格は、今年度制作のレースカーです。

今回は、「スピード部門」と「美術部門」の2部門で競います。「美術部門」コンテストの郵送受付は11月10日までです（白馬参加の皆様はご持参ください）。

作品は白馬セミナーで展示し、優秀作品は表彰させていただく予定です。チアのファミリーを励ましたいという、ある有志の方の提供により、グランプリ大会参加者には豪華賞品あり。また、あるボランティアのご家族が、グランプリ特設コースを製作してくれました。

レースカーキットは、誰でも作れます。いろんな形とか、色とか、工夫できます（レースカー、電車、トラック、ロケット、船、バットマンが乗ってる車タイプ、、、ほか、様々）。のこぎりで、車っぽくカットしたり、トラックの形にしたりします。車軸は差し込むだけなので、トンカチ必要なし。お母さんや小さい子どもたちでもできる楽々セットです。気軽に、こぞってご参加ください！（当日、のこぎり等をお持ちください。）工作・技術の向上はもちろん、素晴らしい家族の思い出にもなりますよ！

現在、キット（500円）の予約申込を受付中です。ご希望の方は、お名前、ご住所、お電話番号、希望個数を明記の上、メール（office@cheajapan.com）、またはFAX（03-6862-8648）でお申込みください。代金は、学習会参加費と一緒に振り込みください。

以下、第1回グランプリカーレース大会優勝者の藤本泰俊さんからのアドバイスです。

速く走る車のコツは以下の3点です。

- (1) 軸は横からなるべくまっすぐに差し込む。
- (2) 軸は車輪の奥まで差し込まないで、車体と車輪の間に余裕を持たせる。
- (3) 軸と車輪の接触部分に少しだけ油を差す。



第1回 カーレース グランプリ大会

いなちゃんの

お薦め映画ライブラリー

先月までの53作品の詳細は www.cheajapan.com 映画ライブラリーコーナーへ

◇ 皆さんからのお便り ◇

◆こないだニュースレターのおすすめにあった、「ワイン・ディキシー」を見ました。とーってもよかったです。原作本も買いました。子どもたちが夢中で読んでいました。大人が読んでも引き込まれます。いいおすすめをありがとうございます。

北海道 ブラウン明子

◆ 「フェイシング・ザ・ジャイアント」の映画上映会をチアのご協力のもと、開かせていただきました。ありがとうございました。改めてじっくり見て、とても感動いたしました。娘と一緒に見れたことは本当に幸い。三女の玲が、

陸上競技をやっていますが、映画を見た後、絶対に勝てると思われた競技会でまさかの失格、予選敗退をしてしまいました。その帰りの車中で、「フェイシング～」の映画の話を私も娘も思い出し、「もし勝つなら、我ら主を讃え、もし、負けても、我ら主を讃える！」という内容の台詞を分かち合いました。娘以上に私ががっかりしたせいかもしれませんが、この言葉に本当に平安が与えられました。「炎のランナー」も見たのですが、娘には「あなたの足が速いのは本当に神様からの賜物だよ」と話しました。決して個人の自慢や名誉になってはいけない、という戒めの意味も込めて。

弘前 栗林美幾

ムービーガイド賞受賞

「カーズ」

世代を超えて圧倒的支持！ 人生で、本当に大切なものは何か

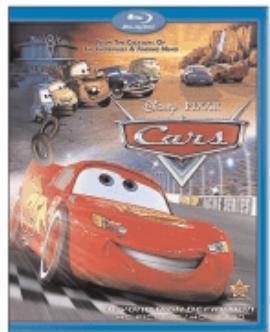
友情・犠牲・思いやり、人の救い、、 郷愁の中で心に触れる聖書モラルの名作！

「カーズ」（ピクサー・ディズニー）を推薦することにしました。これまで、多くの皆さん（大人から低年齢の子どもたちを含む）から、推薦しないのですかとご質問を受け、「僕もわが家のジョセフ（当時1才）も大好きですが、廉価版待ちです」と伝えていました。でも好評のせいか、4年経っても廉価版が出ないので、決断しました。神様に才能与えられた、クリスチャンプロデューサーたちが集まるピクサー作品は、どれも素晴らしいですが、「カーズ」は名作の一つ。映画館で、涙が出ました。先月紹介しましたピクサーの最新作「カールおじさんの空飛ぶ家」も、かなりの名作なので、やはり、廉価版は当分、出ないであろうとの予測のもとに、紹介させていただいています。

「トイ・ストーリー」でアカデミー賞特別賞を受賞後、「ファインディング・ニモ」「Mr.インクレディブル」などで家族のきずな、友情と自己犠牲、名声のむなしさと価値あるものへの自己犠牲といった聖書的・家族的なテーマを追い続けるジョン・ラセター監督、「トイ・ストーリー2」以来、6年振りの作品は、人間の深い心情を掘り下げ、琴線にふれる名作となりました。アカデミー賞アニメーション、音楽部門にノミネート。

天才レーサー、ライトニング・マックイーンは、人気絶頂のニューフェイス。しかし、自己中心的で、友人がいない。マックイーンが迷いこんだのは、地図から消えようとしていた小さな田舎の町だった。そこには、互いに助け合う、様々な住民たちがいた。オンボロで、でも気のいいレッカーチー、メーターや、ロスで成功した弁護士生活に満たされなかったポルシェのサリー、そして、町医者（修理工場）として、皆の尊敬を集めているドク・ハドソン。最初、拒否反応を示していたものの、徐々にレースにおいて、人生において大切な教訓を分かち合おうとする。ドクの背景には、驚くべき、秘密があった…。そして、マックイーンは…。

人とのきずな・友情とは、人を押しのける心や一時的な栄華を求めるむなしさ、人を救うこと、そして、人生において、大事なものはなにか。。。テンポ良きストーリーとアクション映像で飽きさせず、そして、ノスタルジックな中に、淡い心を揺さぶられる好作品。古き良きアメリカの小さな田舎町という設定だが、日本の心にも十分、重なってくる。1歳児のジョセフも飽きずに繰り返し、繰り返し、見続けた、ライブラリーへの推薦作です。上記のとおり、年齢を超えて、推薦希望が多数、寄せられ、圧倒的な支持を受けている名作もあります。背後にある聖書的なモラルが、やはりこの作品を強めていると思います。ディズニーも廉価版、出さない理由もわかります。僕も泣き、笑いました。ピクサー、ありがとう！ よくがんばった！ ハレルヤ！



「トラ・トラ・トラ！」

太平洋戦史から、歴史を動かす情報力、発信力、そして神への畏敬を学ぶ

歴史 (History) は神様 (His) の物語 (Story)。歴史を学ぶ中で、今に生かせる教訓を神様は数多く残してくれています。太平洋戦史の緒戦となる真珠湾攻撃の前後を、できるだけ史実に忠実にとの姿勢で描いた「トラ、トラ、トラ」は、優秀な「戦争アクション映画」にとどまらず、「歴史」や「人間の生き方」そのものを学んでいくことにも関心を増させる、良作です。

連合艦隊旗艦長門に整列した海軍士官のまなざしの向こうにゼロ戦が飛ぶシーンから始まります。実は、この巨大なセットの下での映像シーン、巨匠、黒澤明監督が構想を練り、制作しかけたものでした。しかし、身内スタッフの裏切り行為の中で、ハリウッドとの軋轢も生じ、深いきずなを誇っていたチーム黒澤は分裂、監督は途中降板、舛田俊夫監督、深作欣二監督へと強制的に引き継がれた作品です。失意の黒澤監督は自殺未遂にまで至ります。自分の名前が載るのを一切、禁じたので、彼の名前は登場しませんが、台本、構成ほか、黒澤明監督のしっかりとした土台が組まれた作品です。

旗艦長門では、飛行隊長・淵田少佐が、山本五十六長官（海軍中将）を迎えます。淵田少佐は、後に、真珠湾飛行隊長となり、「トラ、トラ、トラ（我、奇襲に成功せり）」を打電します。戦中は、皇国の英雄として、もてはやされますが、戦後は蔑視され、苦悩の中に、キリストの福音のトラクトをもらい、クリスチャンとなります。日本軍の捕虜となった元アメリカ兵の書いたトラクトで、その後、淵田少佐（後に中佐）は、日米の福音の使者となっていきます。「トラ、トラ、トラ」では、そこまでは描かれませんが、淵田少佐は大切な役割として度々登場するので、後の回心を知りながら見ていると面白いです。

山本長官も、淵田少佐も、これからは、今までのような軍艦巨艦主義ではなく、「飛行機、空母の時代」との重要性を知りますが、保守勢力の中では異端児扱いで、命を狙われる存在です。真理に目覚めた改革者でも、伝道するクリスチャンでも、あるいは、チャーチ＆ホームスクーラーでも、どこの社会でも起こる迫害ですね。

山本長官は、アメリカ視察もして、国力が日本を遥かに上回っていることを知っており、また、軍部等のプロパガンダが操作された情報であることを見抜く、非戦論者でした。同僚の吉田海軍大臣に非戦論を託しますが、近衛文麿総理、東条英機陸軍大臣らは、戦争の火ぶたを切って、大東亜帝国の建設に踏み出します。

山本長官は、そうであるならば、緒戦にすべてをかけて米国太平洋艦隊を徹底的にたたき、和平に持っていくしかないと考え、淵田少佐らとの電撃訓練を進めます。

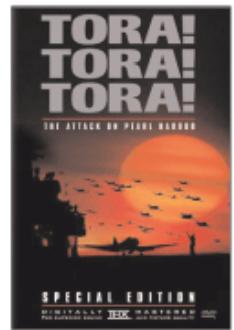
一方、アメリカは、日本に包囲陣を敷き、日本からの一撃を待ちます。当時、大陸間不干涉、孤立主義（モンロー主義）を反映していたアメリカ国民に対し、政府中枢は、戦争へのレールを敷き、画策していたとの説に基づくシーンも、同作品では描かれます。米国海軍省や陸軍情報部は、着々と戦争準備を進める日本政府から在米大使館への打電を傍受、6隻の空母を中心とした連合艦隊が真珠湾をめざしていることをも傍受します。

しかし、マーシャル将軍は、大統領にはその情報を回さず、日本軍に先制攻撃させる道を開きます。ワシントンとハワイの海軍基地の情報連絡ミス、ワシントン上層部の危機管理の甘さ、官僚主義等も重なり、被害は甚大なものとなっていきます。一方、駐米大使館では、タイピストがおらず、手間取り、攻撃30分前に手渡すはずの最後通牒が1時間後になります。真珠湾攻撃隊の奇襲攻撃は、宣戦布告なしの卑怯な「だまし討ち」とされ、アメリカ国民への強いプロパガンダとして用いられています。

第一次、第二次の奇襲は成功し、「トラ、トラ、トラ」は打電されます。しかし、予定していた第三波攻撃を、南雲中将は行わず、日本に帰還する決断をします。その結果、攻撃目標としていた空母「レキントン」や「エンタープライズ」への攻撃や真珠湾封鎖等のチャンスを逃し、後のミッドウェー等での大敗、敗戦への種をまき、「眠れる巨人」を振り起こす結果に終わります。

「もし、戦前の閣議で、非戦論を進められたら」、「もし、アメリカ国内に、モンロー主義がもっと台頭していれば」、「もし、南雲中将が第三波攻撃を予定通り敢行し、米国空母を撃沈していたら」、「もし、駐米大使館が、時間のロスをしていなければ」...、史実を誠実に描こうとしていることもあります。様々な歴史への「もし」が、現実味をもって想起される作品です。しかし、そのすべてを司る、創造主の御手と計画の深さも思わずをえなくなります。アカデミー賞特殊撮影部門受賞（戦争シーンもあるため、小学校高学年等、ある程度の年齢以降が必要でしょう）。それ以下の場合は、親御さんのアドバイスが必要です）。歴史への興味をひも解くためにも、良きステップとなると思います。また、戦争や罪の行為に国家や集団が走るときの圧力のかかり方、情報確保の必要性、一つの決断による影響の大きさ等、現在の日常に当てはまる教訓も多く含まれます。

何より、歴史を司る神の御手と計画の不動の力を思います。多くの尊い命を犠牲にし、日本の敗戦をもって、軍国主義、皇国史觀といったファシズムは、葬られることになりました。しかし、今後も、国は國に、民族は民族に対立する暗黒の時代へと、ますます加速していくでしょう。また、一人一人の自由や尊厳、伝道への権利や自由が嫌悪され、蹂躪される時代の流れが、遅くない時期に来るでしょう。その中にあって、いかに生きるか、赤信号、みんなで渡れば怖くないではなく、神様を恐れて、義にあって歩み続けるたけにはどうしたらいいか、家族で話し合う一つの教材としても推奨できる作品ではないかと思います。



価格：1890円

試写会 「ファイアー・ストーム」「フェイシング・ザ・ジャイアント」

感動の声、続々！ 開催してみませんか？

(無料！少人数OK！) お申込みはチアまで！

<今後の予定>

「ファイアー・ストーム」

- 9月26日（日）
埼玉 Shalome Community Church
- 10月3日（日）
福岡 博多ニューライフ教会 092-481-5477
- 10月9（土）、10日（日）
岩手 RIM キャンプ
- 10月16日（土）
北海道 芽室キリスト教会 0155-62-3574
- 10月30日（土）
大阪 大阪クリスチヤンセンター
- 11月23日（火・祝）午後・夜
敦賀自由キリスト教会

「フェイシング・ザ・ジャイアント」

- 10月9（土）、10日（日）
岩手 RIM キャンプ
- 11月7日（日）
千葉 千葉グレイスチャーチ 043-253-1850

<日程調整中>

- 東京 Kurume Bible Fellowship
- 愛知 国際クリスチヤンバプテスト教会
- 兵庫 広畠キリスト教会
- 東京 みどり野キリスト教会
- 神奈川 チャペルオブホープ
- 奈良 SDA奈良教会

<開催いただいた教会・団体>

「ファイアー・ストーム」

- 仙台 チア・サマー・キャンプ
- 長野 チア・白馬セミナー
- 千葉 おゆみ野教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 福生ベテル教会
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ベテル・バプテスト教会
- 静岡 第45回教役者大会（ヤマハリゾート）
- 東京 武蔵野EFC教会
- 静岡 キャンパス・クルセード（ヤマハリゾート）
- 東京 クロスロード・インターナショナル葛西教会
- 滋賀 ジーザス・ハウス守山教会
- 埼玉 ANRCセミナー（ヘリテージ・リゾート）
- 札幌 ICF教会
- 石川 小松ベタニヤ福音教会
- 滋賀 東近江キリスト福音教会
- 静岡 VIP浜松
- 愛知 名古屋グローリアスチャペル
- 茨城 水戸第一聖書バプテスト教会
- 岡山 西大寺キリスト教会
- 北海道 札幌キリスト福音館
- 北海道 札幌キリスト福音館栗沢チャペル
- 千葉 千葉グレイスチャーチ
- 神奈川 横須賀キリスト教会
- チア・コンベンション（関西・東京）
- 岐阜 海津キリスト教会
- 神奈川 青葉台ナザレン教会

■東京 東京ライトハウスチャーチ

- 大阪 阿倍野キリスト集会
- フォースクエア教団（年次総会）
- 愛知 名古屋グローリアスチャペル（2回目）
- 熊本 有明バイブルチャーチ
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 岐阜 海津キリスト教会（2回目）
- 埼玉 JEA心のオアシスリトリート
- 埼玉 KFG志木キリスト教会
- 神奈川 City Vision Glory Church
- 福井 敦賀自由キリスト教会
- 東京 東京シティチャーチ
- 静岡 インマヌエル綜合伝道団浜松キリスト教会
- 東京 インマヌエル中目黒教会
- 東京 シオン・キリスト教団 蒲田教会
- 宮城 仙台福音自由教会

「フェイシング・ザ・ジャイアント」

- 仙台 チア・サマー・キャンプ
- 神奈川 Living Water Curch
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ANRCセミナー（ヘリテージ・リゾート）
- FCMF(自由クリスチヤン伝道団)
- 千葉 市原シャローム教会
- 青森 弘前キリスト集会
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 埼玉 KFG志木キリスト教会

「ファイアー・ストーム」「フェイシング・ザ・ジャイアント」

試写会 受付中！

たくさんのお申し込み、ありがとうございます。小規模で大歓迎ですので、ぜひ、お申し込みください！DVDは、ご家庭等、個人的な場所での視聴以外、無許可で集会、教会等における上映会は、禁止されています。でも、「ファイアー・ストーム」「フェイシング・ザ・ジャイアント」については、チア・にっぽんが正式な窓口となって、ソニー・ピクチャーズ社に申請する道が開かれました。「上映&DVD販売会」という名目で許可を得る方法です。主に祝福された素晴らしい機会となると確信しています。

まず、チア・にっぽんに資料をご請求ください。既に実施済みの教会、団体からは多くの感動と祝福のレポートが多数、寄せられています。皆さんの教会でも、両作品からの大いなる福音伝道の業が、拡がっていくことを心から祈らせていただきます。

詳細・問い合わせはチア・にっぽんまで（Eメール：kuwatani@cheajapan.com FAX03-6862-8648）。申し込み詳細は、HPでもチェックできます。www.cheajapan.com

お申し込みをお待ちしています！

<全国各地の試写会から届いた声>

世代を超えて拡がる、感動、そして悔い改め

・キリスト教がらみの映画はちょっと一般的には理解されにくい所があつたりしますが、この映画は良い意味で期待を裏切られました。主人公の男性が「宗教と関係ないだろ！」と言つたり、思い悩むシーンはリアルだと思いました。ノートに書いてある40日分のページを読んで、私もやってみたいと思わされました。（40代 女性）

・ケンカのシーンでは自分を見ているようで心が痛みました。無条件の愛、努力することをもう一度考えさせられました。（30代 女性）

・結婚について、夫婦のあり方について、改めて考えさせられました。毎日の何気ない生活の中でこそ、しっかりと相手への思いやりや愛情を伝える努力をしなければならないと感じました。また、神の愛を知って、主人公が本当に変えられていく姿に感動しました。（40代 女性）

・私もクリスチャンとして結婚生活を送る者であるが、他人事ではない様々なシーンもあり、祈っていかなくてはならないことを思った。（30代 男性）

・とても感動的でした。主人公が妻に善い行いをして

も、妻に自分の思うような反応をしてもらえたかった時の、主人公と父親との会話に心を動かされました。私も、夫のみならず、周囲の人に善い行い、自分のベストを尽くしても良い反応をしてもらえたかった時、その行いをするのをやめて、キしてしまいました。でも、私は同じような反応をイエスさまに対してしていたのだと思い、悔い改めました。私も、もう一度、結婚式をしようかな。（40代 女性）

・友人関係にもつながる深い愛を感じました。尊重すること、敬うことがすごく大事だと思いました。（10代 男性）

・神様の愛を本当に心から知る時、奇跡が起こることを見せて頂きました。生きることの意味を教えてくれ、生きる力を与えてくれる映画です。心から神様に、イエス様に感謝致します。（40代 男性）

・とても感動致しました。（80代 女性）

・長い夫婦生活の中で理解されない、理解できないといういらだちの中で、その問題となっているのが、自分の中にある我であることを、もう一度教えられました。とても良い映画でした。（50代 男性）

この他の視聴者の声、www.cheajapan.comに掲載中！ぜひご覧ください。

7月分～9月分（KFG志木キリスト教会、City Vision Glory Church、
インマヌエル総合伝道団浜松キリスト教会、シオン・キリスト教団蒲田教会）

第5回 チア・にっぽん杯 読書感想文大会 募集中！ 11月2日 締切

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を現す力となります。昨年も40作品以上の素晴らしい作品の数々が寄せられました。今年もたくさんのご応募、お待ちしています！

- ◆対象作品：三浦綾子作品（どれでもOK）、あるいはチア書籍（どれでもOK）
- ◆部門：（1）小学生の部（400～1600字）（2）中高生の部（800～2000字）（3）一般の部（800～2000字）
- ◆締切：11月2日（火）
- ◆発表・授賞式：11月18日（木）夜7時 白馬セミナー会場（予定）
- ◆送り先：〒189-0013 東京都東村山市榮町1-5-4-103 チア・にっぽん事務局 「読書感想文係」
(※メールでも受け付けています → office@cheajapan.com)

第4回 読書感想文 中高生の部 最優秀賞作品

「道ありき」を読んで

斎藤 晶海

人とは何か。生きていく上で大切な事は何か——。この疑問は、誰しもが一度は思ったことがあり、また答えを考えたことがあるだろう。私自身もこのことについて考えたことがある。しかし、どれだけの人がこの問いの答えに行き着いたのだろうか。この本は、再び私を問い合わせの「渦」へと投げ込んだ。

この本は、著者である三浦綾子さんが自身の半生を綴った自伝的な小説だ。彼女は十七歳の頃から教職に就いた。しかし、敗戦後に何が正しいことで、何が間違っていることなのか、という問題に悩まされ、教師の職を辞めてしまう。その直後に病を患い、そこから入退院を繰り返し、長期の闘病生活を余儀なくされてしまう。しかし、その闘病生活の中で、生と死・人間・神や宗教、といったものについて、たくさんの人々のかかわりを通して学び、発見していくのである。

彼女の歩みを読み進めていく中で、私は納得させられることが三つあった。

その中の一つが「約束」ということについてだ。著者には、前川正という非常に親しい友人がいた。ある日、彼が彼女に「あしたの夜、お赤飯を持ってくるかも知れませんよ。けれどね、約束はしませんよ」と言う。私は全く意味がわからなかった。約束はしないなんて、相手を不安にさせるだけだと思った。

けれど、そうではなかった。彼は、人の心の移ろいやさを知っていたのだ。約束を必ず守れる保証などどこにもなく、むしろ守れなかった時に相手を失望させてしまう。著者も、「真に眞実な人間は、約束を軽々しくしない」ことをハッキリ知らされた、と思い返している。「約束」を守ることはもちろん大切なことである。しかし、それ以上に「約束」を軽々しくしないことの方が大切なのではないかと思わされた。

二つ目に納得させられたこと、それは「人への依存の脆さ」についてだ。著者は、前川正と深く関わっていくうちに、自分が前川正に依存していることに気付く。また同時に、

自分の安らぎが彼の存在の上にのみ成り立っているという不安に襲われる。彼と離別する時にこの幸福の基盤は簡単に失われる。けれど永遠の幸福がほしい。著者はそう考える。私は全くもってその通りだと思った。人間は誰もが永遠に幸せでいたいと願うに決まっている。しかし、人に依存した生き方・幸せというものは永遠には続かない。人は必ずどこかで死んでしまうのだから。無論、誰かと共に楽しい生活を送ることは悪いことではない。大切なのは、その「誰か」が誰なのかだと思った。

そこで出てきたのが三つ目である、「神の存在」ということについてだ。著者がキリスト教へと回心する一步手前の時、友人に「神などいるはずがない、科学で証明できないのだから」と言われる。それに対し著者は、ならば神がないという証明をしてほしい、と反論する。すると、その友人は困ったそうだ。著者は、神の存在があると考えた方が良いという考えに至る。もしいると信じて、実際にいなくても、失うものは何もない。だが、ないと信じ、実際にいた場合、神の前に出ることなどできない、そう考えたのだ。

それからしばらく後、著者は洗礼を受けた。この主張を読み、私はなるほどと思った。私は生まれながらに教会に行っていたので、神の存在は当たり前だと幼少の頃から考えていた。しかし、そうではない人にとっては神など半信半疑の存在なのだ。いきなり信じることは無理だろう。それでも、著者のように考えることはできるのではないかどうか。聖書の中の「もし人が、自分は何か知っていると思うなら、その人は、知らなければならないほどの事すら、まだ知っていない」という言葉に著者は共感を覚えたという。「神がない」ということを知っているつもりなら、「神がいる」ということを知らないということだ。この究極の逆説に、私は力強さを感じ、この主張こそが人生で大切なのだと思った。

聖書の言っている神は、決して約束を裏切らない眞実な方であり、初めであり終わりである永遠の方であり、在って在られる方である。私はこの本を通して、約束・永遠・神の存在という、人生で大切なことを改めて認識させられた。この大切なことを、問い合わせの「渦」へと巻き込まれている人々に伝えていこうと思う。

♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

フレーフレー、チア・にっぽん！ お祈りしています。
東京 小林万喜子

注文したDVD聖書スタンダードセット、早速聞きました。格調高く、思わず涙が出そうになりました。とても素晴らしいものをありがとうございます。 Aさん

この夏は二年ぶりに家族でマレーシアに里帰りで、リフレッシュされ、元気に戻ってきました。今年も残すところ3ヶ月となっていましたが、ほんとうに大切なことに焦点を当てて、主のわざに励んでいきたいと再決心！です。皆様、お体を大切になさってくださいね。祝福を心から祈っています。 大阪 ピレイ順子

チア・にっぽんで個展の紹介をしてくださり心より感謝申し上げます！ 期待と緊張で心がいっぱいでしたが、無事終了しました。初日50名に続き、たくさんの方が来てくださいました。クリスチャンではない方たちも喜んでくださり、とてもうれしかったです。チアを通して訪れてくださった方々も多く、感謝でした。これからも、主のご栄光のために絵を描いていきたいです。聖書をテーマとした個展を定期的に持ちたいと願っていますので、よろしくお願ひいたします。ありがとうございます！ 北海道 木林 真音

3月のANRCセミナーの講座に参加させて頂き、のびのびとした子どもたちの笑顔や、稻葉さんのすばらしい証しにとても感銘を受けました。もし、結婚・家族に導かれれば、チア・にっぽんで活動されてるような子育てができると願っています。 Bさん

知人が出演する「わかくさのうた」という劇を観ました。たくさんの人人が集まり、すばらしい劇で感動しました。7人の戦災孤児たちが助け合って生きて行こうとする物語です。ホームページでは書いてなかったけど、一人の子どもが原爆症で苦しむ中国人から聖書をもらって生きる意味を考え始める場面があり、聖書が何度も出てきました。代表がクリスチャンだからこんな劇が出来たのかなと思いましたが、クリスチャンでない人達が演じたり、見て下さってると思うと感激でした。

千葉 井澤満美子

佳南と詩音のダンス動画を応募しました。ユーチューブから『姉妹の舞』で検索すると、三つ、ご覧いただけます。10月31日までの期間限定らしいです。見て頂けるとうれしいです。 埼玉 今井和義&理恵&佳南&詩音

稻村さんからのお知らせ
光くん、20週で誕生、生後4日で天国へ

ハレルヤ！ チア・コンベンションでは大変お世話になりました。個人的にお話する機会がもてましたこと、とても嬉しかったです。

また、夜の「ファイアーストーム」の試写会は貸し切り状態で、これもまた、気兼ねなく泣けて感謝でした。

さっそくですが、生後4日の息子（光くん・3男）が天に召されましたので、ご連絡申し上げます。コンベンションの時には妊娠3ヶ月で、まだ公にしてはいなかったのですが、それでも、すこしふくらしたお腹に気付いてください、その場で祝福と守りをお祈り下さる方々がいらっしゃいました。

個別にお知らせできればよいのですが、初対面の方で連絡先を存じ上げない方も数名いらっしゃいましたので、チアを通じて、ご報告とお祈りいただいた感謝をお伝えさせていただきたいと思いました。

経緯につきましては、拙ブログに記録しております。

<http://hidabible.blog76.fc2.com/>

ご家族、チアへの祝福を心よりお祈りしております。

稻村 直喜・真由美・あみ・奏・響

(稻村さんへの返信)

ハレルヤ！ メール、うれしく思いました。でも、とても残念で悲しいニュースでした。ブログも読ませていただきました。涙がでてきますね。20週のお母さんの日々。そして、4日間の地上での日々。看護師さんが言ってくれた、「赤ちゃんも頑張った。ママも頑張った。やっぱり、信じるって強いなあと思った」とのことば、アーメンです。稻村さんご夫妻、ご家族に神様の深い慰めがありますようにと心から祈ります。

主の慰めをチアのみんなと、心から、心から祈っています。

主にありて

稻葉 寛夫

(前文略)

なんというか、日が経つにつれ、哀しみが増してくるものなのですね。召された直後は、様々な手続きがあって、あまり考え込む余裕がなかったからかもしれません。長女のあみが4月から小学生になる学年ですので、教育委員会への対応などもこれから準備していきたいです。ご家族の皆様、チアのスタッフの皆様に、くれぐれもよろしくお伝え下さいませ。

稻村 直喜・真由美



チア・サマーキャンプ2010 アンケート Part 1

<大人アンケート>

・初めて参加しました。最初は少し緊張しましたが、すぐに親しくお交わりできたので、ホームスクールを通しての神の家族に会えて感謝な時でした。海と花火が楽しくて感動しました! (匿名)

・2年ぶり2回目の参加です。大人の交わりタイムで知恵をいただいたり、楽しい体験をともにして子どもへの愛が新たにされました。参加していた子ども達の成長にも喜びを感じました。他のお母さん達と弱さを告白しあい、温かい励ましもいただきました。育児の喜びと重荷を深いところまで味わっている主にある姉妹の愛に感謝です。(匿名)

・今回も非常に楽しませて頂きました! スタッフ、明泉、ＬＩＴの皆様に感謝致します。チアのイベントに参加するたびに神様から授かった子どもを育てるためには自分自身の信仰を深めることが重要であることを痛感させられます。一昨年、初めてビリポ先生にスパンクの仕方を伺った時は、子どもを打つことなどできないと思いましたが、今は、聖書に従って子どもを訓戒することの必要性を認識しています。親としても日々神様に成長させられていることを感じます。(東京 成瀬太郎)

・初めてのキャンプでとっても楽しかったです。この夏の最高の思い出になると思います。また来年も是非来たいと思っています。(匿名)

・今年も楽しく過ごさせていただき感謝です。今回も神様が新しい兄姉との出会いを与えて下さり感謝です。陽川さん9年間、大変お疲れ様でした!! とってもさびしいです(でも、古川さんのお父様とお友達になってしまいました。その交わりも感謝です)。陽川さん、今まで本当にありがとうございました。又、稲葉さん、明泉スタッフの皆さん、ＬＩＴの皆さん、今年もお世話になりました。LITの働きも慰めと励ましになりました。感謝です。(東京 鶴井賢哉)

・楽しくすごせました。(匿名)

・去年と違う場所で楽しむことが出来て、よかったです。2回目の参加ですが、食事が皆様と違う娘のためにキッチン等をお借りでき、とても感謝いたしております。(愛知今中久美)

・サマーキャンプ初参加でしたが、期待をはるかに超えた楽しさと充実感に大満足でした。普段なかなか分かち合えないホームスクーラーとしての喜びや苦労を、同じ思いを持った方々と話し、励ましあうことができました(神奈川辻寿)



・3日目のゲーム大会もとっても楽しかった! 雨の日でも、主の祝福に満ちたプログラムが準備され感謝でした。(匿名)

・初めてのサマーキャンプでした。ウォーターファイト、海水浴では童心に帰って思い切り遊びました。松島観光はキャンセルでしたが、その代わりにした家族紹介の時間がアイスブレークとなり、その後たくさんの方に声をかけてもらえてうれしかったです。夜の大人の交わりタイムでも、たくさんの方々と出会い、互いに祈り、励まし合い、来てよかったです。来年も来ようと思いました。明泉、チアの皆さんからのもてなし、普段、勉強を教え、習い事の送り迎えなど忙殺されて疲れていた心と体に染み渡りました。(神奈川 辻奈央子)

・高森でのキャンプ楽しかったです。2色のTシャツ染めは良かったです。また参加したいです。(匿名)

・4年前は4人家族での参加でしたが、今回は6人家族となって来ました。4年ぶりの参加でしたけど楽しかったです。家族が増えて金銭的につらいんですけど、次回も神様に導かれればと思います。すばらしい夏をありがとうございました。(埼玉 藤本博樹)

・楽しかったです。ありがとうございました。もりだくさんで時間が足りないくらいでした。神様に感謝です。(神奈川 藤本泰俊)

・良かった。楽しかった。Well organized Big!(大規模!) Nature!(自然!) Fun!(楽しい!)。海、楽しかった(東京 中村芳子)

・遊覧船がなくなり、物さびしい気がしましたが、その分ゆっくり交わりがもてたりと感謝でした。全ての点で感謝しております。ありがとうございました。(匿名)

・神様のあわれみを強く感じるキャンプでした。スタッフの皆様に深く感謝します。(宮城 鍵谷徹也)

・初めての参加で、感動や平安がいっぱいでした。(匿名)

・今回、車椅子の母を連れてくる事に不安がありましたが、LITの方々がいろんなところで介助して下さいました。ビーチに行く時も、シャワーに行く時も、男の子たちが重い車いすと母を運んで下さいました。母の為にシャワー室に急きょ椅子をセットして下さいました。母に多くの方が声をかけて下さり、母の心細さや緊張感が和らぎました。多くの皆さんとの心遣いを通して、家族のような親しい交わりを通して、母に神様の愛が流されたキャンプでした。本当にありがとうございました。又、神様のみことばにも母がたくさんふれることができました。聖書の時間にはピリポさんの目の前に席を用意していただき、交わりネットワーキングにも参加させていただき、本当に感謝しています。(神奈川 沖田ゆかり)

・すごくゆっくりできました。ありがとうございます。子供がLITに参加するようになり、親だけの参加でどうしようかと迷っていましたが、神様の導きに感謝です。(匿名)

・富山からは大変な道のりでしたが、来てからはキメ細やかなフォローと施設の素晴らしさに感動しました。(富山 棚田伊作)

・チア・サマーキャンプお疲れさまでした～☆ 今回、家族全員で参加できて本当に良かったです。子どもたちがすべてのプログラムを楽しみ、友達もたくさんできました。そして、私たちの知らない多くの方々、満音のため、私たち家族の為に祈ってくださっていたことを実感することができ、感謝の気持ちで一杯でした。満音が、稻葉さんとともに楽しそうにキャッチボールをできたのも神様の恵みでした。では、白馬で会えるのを楽しみにしています。(愛知 森山剛)

・長い戦いの後で頂いた神様からのごほうびでした。満音の為に祈り支えて下さった方々と実際にお会いして、主にある勝利と奇跡の証しをお分かちできたことも、大きな恵みでした。(愛知 森山有佳子)



・いつも期待以上のAmaging、ありがとうございます。雨の間合い間にプログラムが順調にこなされ感謝です。遊覧船の代わりのネットワーキングもよかったです。夜の映写会は、いい雰囲気なのでまたやってほしい。(東京 伊澤聰一郎)

・Tシャツの2色染めがよかったです。いつものことながら、裏方さんの奉仕に頭が下がります。今回くらいの人数の方が何かと落ち着いているので良いと思いました。来年は滝つぼに行ってみたいです。(匿名)

・はじめて参加しました。フィリップ先生のお話はコンペニションで何度も聞いているのですが、今回は神さまが特別な迫りをくださいました。感謝します。Tシャツ染めや打ち上げ花火、海水浴での波乗り、バスの交わりなど、思い出いっぱいです。(東京 佐藤哲彰)

・私が体調を崩し、一年余り夫・子どもたちも共に試練の時を過ごしました。神様の憐れみによってようやく乗り越え、迎えたこの夏。初めて参加したサマーキャンプは私たち家族への主からのプレゼントでした。楽しいイベントの数々も満喫しましたが、フィリップ先生はじめ明泉の皆さんとのイエス様の福音の恵みと使命にしっかりと立っておられるお姿やメッセージ、与えられた数々の交わりの恵みやLITの皆さんの仕える姿に、多くの励ましとチャレンジを受けました。また、満音くんの病をご家族で乗り越えられ、主にあって勝利された森山ファミリーの参加も大きな喜びでした。すばらしい時を与えられ、主とチアの働きに心から感謝しています。(東京 佐藤美智子)

<子どもアンケート>

・楽しく仕事をさせていただきました！LITは初めてでしたが、すぐ環境になじめてすごく良かったです！(松岡基 12歳)

・たのしかった。来年もサマーキャンプしたい！(ふじもとみちこ 7歳)

・本当に感謝しています。食事や川へ行かせてくれた事、とくに僕をもっと神様に近づけてくれたこと、本当に楽しくすばらしい時間をありがとうございました。(星野上栄 13歳 LIT)

・新たに、色々な仕事のやり方を学べてよかったです。良い交わりができてよかったです。一日一日がとっても長く感じた。自ら仕事を見つけて、やれる機会ができてよかったです。毎日ハードでしたが、神様が力を与えて下さった！このすばらしいプログラム、スタッフ、神様に感謝です!!(上原晴也 13歳 LIT)

・チアにっぽんと明泉のスタッフの方々に心から感謝です!! LITのメンバー達と沢山学ぶことができ、最高の夏の思い出になりました。キャンプ中だけじゃなく家に帰ってからも、学んだことを生かし、心から神様に仕えて行きたいです。また来年も参加したいです。ただ感謝の一言です!!(篠原光 17歳)

・とてもたのしかったです。ウォーターファイトがたのしかったです。(辻のゆり 6歳)

・テキバキ仕事がてたのしかったです。来年も参加したいです。(菊池雄太郎 16歳 LIT)

・やることが多く楽しめた。(竜岳弘 14歳 LIT)

・今年はLITの人数も少なく、去年とちがってかなり大変でしたが、その分、仲間と力を合わせながら、人と神様に仕えられました。今回は20才という枠をこえてのキャンプでしたが、できれば来年も参加したいと思います。(大野真也 20歳 LIT)

・すっごく楽しかったです。来年ももっとたくさん遊びたいです。(藤本峻多 10歳)

・楽しかったです。チア・サマーキャンプは3回目でした。来年もきたいです。(亀井義和喜 8歳)

・去年に引き続きLITに参加しました。今回のLITはちょうどいい人数で、たくさんのホームスクーリング仲間とよき交わりができました。ありがとうございました。(山口結実 14歳)

・とっても楽しかった。馬にまたいっぱい乗りたいです。(はばあいか 5歳)

・とにかく楽しかった!! 一人で初めて参加だったので不安でした。でも、ウォーターファイトでたくさんの友達ができました。来年はLITに参加したいです。たくさんの人と出会えてよかったです。本当に神様に感謝しています。(土橋紀子 12歳)

・ウォーターファイトもスイカ割りも、バーベキューも全部楽しかったです!(はばりゅうき 6歳)



・とても楽しかったです!! あっという間にキャンプが終わってしまってとてもざんねんで来年も行きたいです。新しい友達もいっぱいできました。毎年行くたびに新しい友達をつくりたいです。13歳になったらLITをしたいです。いつもチアのために祈ります。本当にありがとうございました。ホームスクーリングを始めて5年目です。神様にホームスクールをやらせててくれてありがとうございます。気持ちです。(森山佳音 11歳)

・全部楽しかったし、友達もつくれたので楽しかったです! この3日間、楽しくてすぐ終わってしまいました。(波場瑛 11歳)

・たのしかった。(なるせえみ 4歳)

・道のりは長かったけど、馬のりがたのしかったです。(棚田主喜 9歳)

・すっごく楽しかったです!! なかでも友達ができたのがうれしかったです。(辻アンナ 10歳)

・うみがたのしかった(辻創 8歳)

・2回目のLITの参加でしたので仕事も去年以上に頑張ろうと思いました。「人につかえる」ということが今まで以上に学べたキャンプになりました。教会でこの経験を生かせば良いと思います。来年も行きたいと思います。(矢島志温 15歳)

・Tシャツの2色染めがよかったです。いつももことながら裏方さんの奉仕に頭が下がります。今回くらいの人数の方が何かと落ち着いているのでいいと思いました。滝つぼに行ってみたいです。(矢島利幸)

・ウォーターファイトが楽しかったです。(市川喜也 9歳)

(チア・にっぽん カレンダー)

- チアにっぽん関東合同学習会トライアル（予定）
 - ・9月25日（土）
 - ・2011年3月22日（火）
 - ・2011年1月31日（月）
 ◆国立オリンピック記念青少年総合センター（東京・代々木）
- 白馬セミナー ホテル・グリーンプラザ白馬（長野）
 - 11月18（木）-20日（土）
 ◆主講師 スコット＆マーシャ・ソマービル夫妻
- VIPグローバルコミュニケーション横浜
 - 2011年1月29日（土）18:00-21:00
 - 「聖書が教える子育て・親育て・自分育て
-0歳から20代を超えた子・孫たちのために」
 講師：稻葉寛夫
 場所：かけはし都筑（横浜市都筑区）
 連絡先：広山国臣さん（090-9922-1856）

**「第3回みことば習字コンクール・
絵画・写真作品展」作品大募集！！**

- 展示日時：2010年10月25日（月）
- 応募締切：10月11日
- 場所：ミューザ川崎企画展示室（全応募作品は白馬セミナー会場にも展示）
 *同時開催「ホームスクーラーなんでも発表会」出演者も大募集!!
- 募集案内等詳細はafruitfulvine.128@nifty.com
 or 090-6178-2840（上原まで）

**GLEEM 第12回（2011春）
5ヶ月ホームステイ in カナダ**

カナダの雄大な大自然に囲まれながら英語を学習し、神様との関係も深められると好評のGLEEM留学プログラム。そのほか、テニス、ゴルフ、乗馬、水泳など盛りだくさんのアクティビティや、クリスチャン教育も充実！ 現在、参加中の源田真生さんへの祝福をお祈りください。

詳細はチア・にっぽん事務局へ（TEL 048-854-1725、メール：kuwatani@cheajapan.com）。お申込みはお早めに！

■次回の予定 <春のプログラム>

出発：2011年1月中旬予定 帰国：2011年6月中旬予定

今号からNL印刷方法が刷新！ 9年来お世話になっているワールド印刷さん（TEL 03-5961-6741。東京・北区）が、チアのために新ソフトを導入、今までより低価格でクオリティをアップ！ 応援を感謝します！